

Global Liberal Arts Program (GLAP)教育課程編成の方針

教育課程の編成と特色

GLAP の教育課程は、学士課程における修業年限4年間で「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分し編成している。各期のねらいは以下のとおりである。

■ 導入期は、「Tutorial」(学びの技法)、「Liberal Arts in Higher Education」(学びの精神)、「GLP 基礎科目(リーダーシップ教育)」、「英語リベラルアーツ(ELA)科目」、「言語教育科目」などで構成され、リベラルアーツを学ぶうえで基礎となる知識と技法、英語運用能力を身につけることができる。

■ 形成期は、「Global Studies Essentials」の3科目において、完成期に集中して学ぶ「Global Studies Electives」の各分野の基礎となる知識を学ぶとともに、「Second Year Seminar」における少人数のゼミ形式の授業での議論や発表を通じ、さらにコミュニケーション能力や批判的思考力、表現力を高める。そして、原則1年間の海外協定校での留学研修「Study Abroad」において、導入・形成期に身につけた能力を、留学という異文化体験の場で実践的に活用することで、異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働する能力を向上させ、海外の大学でさらにリベラルアーツの学びを深めることができる。

■ 完成期は、「Global Studies Electives」として、3つのフィールド「Humanities」「Citizenship」「Business」から選択した各自の興味・関心に合致した領域を集中して学ぶとともに、選択した以外のフィールドの科目の履修や「Final Year Seminar」(GLAP Senior Studies)での学びを通じて、特定の分野にとらわれない複合的な知識と能力を向上させ、GLAPでの学びの総括となる「Graduation Paper」(GLAP Senior Studies)の執筆につながるよう設定している。